

環境に対する配慮

当社は企業活動において、社会的責任を果たす為にも環境の保全は重要な責務と考えております。

当社における、環境の基本理念により、環境保全の取り組みとして

1. CO2 排出抑制/削減の取り組み

2. 生物多様性保全の取り組み

を実施致します。

1. CO2 排出抑制/削減の取り組み

限りある資源を大切に扱い、省エネルギー・省資源を推進することにより、温室効果ガスである、CO2 の排出抑制/削減に取り組みます。

CO2 排出抑制/削減について、当社で出来ることを確実に行之い、環境保全に取り組みます。

- ・空調の適温化（冷房 28 度程度、暖房 20 度程度）を徹底します。
- ・空調を必要な区域・時間に限定して行います。
- ・空調・冷却設備の保守点検をこまめに実施します。
- ・エレベーターの適正使用を励行します。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を積極的に行います。
- ・コピー機、パソコン、プリンタなどの OA 機器について、エネルギー効率をチェックし、エネルギー効率の高い機器を積極的に導入します。

CO2 排出状況（小数点第 2 位で四捨五入）

種目別一覧	CO2 排出量(t)		
名称	2019 年度	2020 年度	2021 年度
電力	9.5	9.0	8.7
CO2 総排出量	9.5	9.0	8.7

※過去 3 年分の本社オフィスの排出量となります。

1.1 2019 年度 CO2 排出削減の目標と結果

2019 年度は、「CO2 の排出を抑え、9.1t とすること」を目標としました。

結果として、1 年間の CO2 排出量は 9.5t となり、ほぼ目標に設定した値となりました。

若干目標を上回った原因としては、2019 年度は会社の受託業務強化の方針に伴い、本社オフィスに滞在する人数が増えたため、電気の使用量が増えたことが要因であると考えています。

1.2 2020 年度 CO2 排出削減の目標と結果

2020 年度は、「CO2 の排出を抑え、2019 年度と同様の排出量を維持」を目標としました。

結果として、1 年間の CO2 排出量は 9.0t となり、2019 年度で設定した目標値を下回る事に成功しました。

成功した要因としては、移転後オフィス内の電気利用の適正化がなされたこと、一部業務のテレワーク化に伴いオフィス利用率を下げた結果と考えられます。

1.3 2021 年度 CO2 排出削減の目標と結果

2021 年度は、「2020 年度と同様の排出量を維持」を目標としました。

結果として、1 年間の CO2 排出量は 8.7t となり、目標値を下回る事に成功しました。

成功した要因としては、業務のテレワーク化によるオフィス利用状況を維持した結果と考えられます。

1.4 2022 年度 CO2 排出削減の目標

現状を鑑み、オフィス利用が必須でない作業に関してはテレワーク化の促進を進めていき CO2 排出量の低下を目指します。

2022 年度の目標としては「2021 年度と同様の排出量を維持」を目標とします。

2. 生物多様性保全の取り組み

当社は地球環境における、全ての生物が健全な営みを持続するためには、生物多様性について理解し、その保全に努めることが大切であると考えております。

生物多様性保全について当社で出来ることを確実に行之、環境保全に取り組みます。

生物多様性に悪影響を与える、環境破壊を抑止する目的で以下を実施致します。

- ・ 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用をします。
- ・ 紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底します。
- ・ コピー機、プリンタのトナーカートリッジの回収とリサイクルを徹底します。
- ・ 生ごみ等の分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立処分を抑制します。

また、具体的な生物多様性保全活動として、以下を実施致します。

- ・ 従業員に生物多様性保全に対する意識の向上のために必要な教育を行います。

2022 年 8 月 25 日

株式会社シーキューブソフト
代表取締役 佐々木 喜興